



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 極洋  
コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 多田 久樹

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長

(氏名) 上島 幹雄

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	43,191	0.9	469	△34.9	677	△17.0	335	△29.4
24年3月期第1四半期	42,802	14.2	720	92.5	816	72.7	474	184.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 292百万円 (△31.2%) 24年3月期第1四半期 425百万円 (351.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.19	—
24年3月期第1四半期	4.52	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	84,490	16,964	19.7
24年3月期	84,937	17,212	20.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 16,615百万円 24年3月期 16,965百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	90,000	2.5	1,100	44.2	1,050	4.0	550	42.2	5.24
通期	185,000	1.7	3,200	95.6	3,100	81.5	1,800	325.5	17.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	109,282,837 株	24年3月期	109,282,837 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	4,248,081 株	24年3月期	4,248,051 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	105,034,776 株	24年3月期1Q	105,035,081 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2P
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2P
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3P
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3P
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3P
3. 四半期連結財務諸表 .....	4P
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4P
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6P
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8P
(4) セグメント情報等 .....	8P
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9P

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連などの国内需要は堅調に推移しましたが、欧州債務危機の再燃に起因する世界景気の減速懸念の高まりや円高の長期化など先行きに対する見通しは依然として不透明な状況が続いております。

水産・食品業界におきましても、消費者の生活防衛意識による節約志向、低価格志向が続いており、個人消費は盛り上がりには欠ける展開となっております。

このような状況のもとで当社グループは、平成24年4月より新中期経営計画『パワーアップキョクヨー2015』をスタートさせ、「キョクヨーグループの優位性を強化、拡充し、安心・安全で競争力のある商品の提供により、グループ企業価値の最大化を実現する」ことを基本目標に据え、目標達成に向けて取り組んでおります。

水産商事事業セグメントでは、冷凍魚の切身加工、生食用甘えびやその他えび・かにの剥き身など加工を施した付加価値商品の販売に努めましたが、チリ銀鮭の供給過剰による市況下落が他の魚種へも波及したことや昨年の震災による需要増の反動もあり、売上、利益ともに前年同期を下回りました。

冷凍食品事業セグメントにおける水産冷凍食品では、寿司種を中心とした生食用商品及び骨なし切身、焼魚、煮魚などの加熱用商品の拡販を行いました。調理冷凍食品は、底堅い内食需要を背景に量販店やコンビニ向けに水産フライ類に加え、畜肉製品など惣菜類の販促に努めましたが、販売競争激化の影響を受けました。その結果、この部門の売上は前年同期を上回りましたが、利益は下回りました。

常温食品事業セグメントでは、生産設備の復旧が進んだ国内協力工場の水産缶詰を中心に、輸入缶詰や畜肉缶詰、海産珍味類などを量販店や大手コンビニルートへの拡販及び新規商材の開発に努めた結果、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

物流サービス事業セグメントにおける冷蔵倉庫事業では、営業力強化と事業の効率化に努めました。冷蔵運搬船事業は、欧州の景気低迷が続くなか、荷動きの停滞、運賃市況の悪化など厳しい状況の改善は見られませんでした。その結果、この部門は売上、利益ともに前年同期を下回りました。

鰹・鮪事業セグメントにおける海外まき網事業は、漁獲量の増加や魚価の上昇により、所期の計画を上回りました。養殖事業は、順調な生育状況のもと品質に対する評価も高く、好調に推移しました。かつお・まぐろ加工及び販売事業は、国内外からの原料調達ルートの拡充を図り、原料高の続く中、安定的な原料確保に注力し、大手回転寿司チェーン店や量販店などへの拡販に努めました。その結果、この部門は売上、利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は431億91百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は4億69百万円(前年同期比34.9%減)、経常利益は6億77百万円(前年同期比17.0%減)、四半期純利益は3億35百万円(前年同期比29.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億47百万円減少し、844億90百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億32百万円減少し、645億92百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却などにより、前連結会計年度末に比べ2億14百万円減少し、198億98百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金並びにコマーシャル・ペーパーが増加したものの、借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億99百万円減少し、675億26百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億47百万円減少し、169億64百万円となりました。

この結果、自己資本比率は19.7%(前連結会計年度末比0.3ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は予想の範囲内で推移しており、第2四半期及び通期の連結業績予想に関しまして、先行きは不透明であります。平成24年5月11日に公表した業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動の概要

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,496	3,300
受取手形及び売掛金	23,722	22,412
たな卸資産	33,756	35,268
その他	3,894	3,635
貸倒引当金	△45	△24
流動資産合計	64,824	64,592
固定資産		
有形固定資産	11,574	11,530
無形固定資産		
のれん	318	296
その他	412	405
無形固定資産合計	730	701
投資その他の資産		
投資有価証券	4,226	3,902
その他	3,602	3,784
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	7,807	7,666
固定資産合計	20,113	19,898
資産合計	84,937	84,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,913	8,406
短期借入金	39,205	33,199
コマーシャル・ペーパー	5,000	10,000
未払法人税等	887	191
引当金	750	441
その他	5,973	6,353
流動負債合計	58,730	58,591
固定負債		
長期借入金	2,797	2,601
退職給付引当金	5,155	5,314
その他の引当金	78	78
資産除去債務	50	50
その他	913	889
固定負債合計	8,995	8,934
負債合計	67,725	67,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	749	749
利益剰余金	12,017	11,826
自己株式	△747	△747
株主資本合計	17,683	17,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△669	△877
繰延ヘッジ損益	61	27
為替換算調整勘定	△109	△27
その他の包括利益累計額合計	△717	△877
少数株主持分	246	348
純資産合計	17,212	16,964
負債純資産合計	84,937	84,490

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	42,802	43,191
売上原価	37,653	38,275
売上総利益	5,149	4,915
販売費及び一般管理費	4,428	4,446
営業利益	720	469
営業外収益		
受取利息	22	24
受取配当金	73	74
為替差益	58	93
その他	55	121
営業外収益合計	210	313
営業外費用		
支払利息	98	97
その他	15	7
営業外費用合計	114	104
経常利益	816	677
特別利益		
固定資産処分益	—	7
国庫補助金	—	30
その他	0	—
特別利益合計	0	38
特別損失		
固定資産処分損	0	0
投資有価証券評価損	3	—
その他	0	3
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純利益	813	712
法人税、住民税及び事業税	317	190
法人税等調整額	28	150
法人税等合計	346	340
少数株主損益調整前四半期純利益	467	371
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7	36
四半期純利益	474	335



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7	36
少数株主損益調整前四半期純利益	467	371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△207
繰延ヘッジ損益	△52	△34
為替換算調整勘定	0	162
その他の包括利益合計	△41	△79
四半期包括利益	425	292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419	175
少数株主に係る四半期包括利益	5	117

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益 及び包括 利益計算 書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	21,248	10,850	3,289	1,097	6,300	15	42,802	—	42,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,154	426	56	240	300	219	4,397	△4,397	—
計	24,403	11,276	3,346	1,337	6,601	234	47,200	△4,397	42,802
セグメント利益	589	85	9	49	22	33	789	△68	720

(注) 1. セグメント利益の調整額68百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用102百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益 及び包括 利益計算 書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	19,634	11,616	3,895	1,019	7,007	17	43,191	—	43,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,621	655	46	249	793	218	5,584	△5,584	—
計	23,256	12,271	3,942	1,269	7,800	235	48,775	△5,584	43,191
セグメント利益又は 損失(△)	221	18	27	△140	357	25	510	△41	469

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額41百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用91万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。